



横浜市立桂小学校

桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

8月号

令和2年7月31日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



夏休み

校長 寺澤 みゆき

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。私は、夏休みと聞くと、井上陽水さんの「少年時代」が胸の奥に響いてきます。保護者の皆様の中にも、自分の夏休みの思い出を重ね、この曲を聴く方も多いのではないのでしょうか。

～ 夏まつり 宵かがり 胸のたかなりに あわせて 八月は夢花火 私の心は夏模様 ～

「夏休み」という響きに大人も子どもも心の中に何ともいえない感情が沸き立つのは、私たちの生活にとって大切な時間となっているからだと思います。その証拠に夏休み明け、久しぶりに会った子どもたちに「成長したなあ！」と教師が驚くのが、実は学校の風物詩となっています。

学校の年間暦に夏休みが位置付けられたのは、今から150年ほど前の明治時代の頃のようにです。明治7～9年頃は5日～7日間、明治14～19年は21日間と、この頃は正月以外の長期休暇に反対する空気も強かったこともあり、ある年は長くある年は短く、世論によっていろいろと変更されたそうです。

また、明治12～13年は、15日間と期間だけが定められ、各学校によって休む日が異なったり、休暇を返上し授業を行った教師の話が美談として新聞に載ったことで、夏休み返上の小学校が方々にできたりするような世相であったとのこと。夏休みが40日間ほどになったのは、昭和12年からであるそうです。意外な歴史に驚かされました。(参考:「明治の小学校」大森久治著)

ところで、本校を含む横浜市立学校の夏休みは、「横浜市立学校の管理運営に関する規則」で定められています。今回の夏休み期間の短縮は、この規則の改正により決定しました。

横浜市立学校の夏休みが、土日祝日を含めて16日間に短縮されるのは、明治時代以降で初めてかもしれません。それでも、開始と終了がしっかりと定まり、戻ってきた際にはまた皆と会えることが約束されている休業、夏休みです。

「少年時代」にうたわれているような祭りや花火大会が今年も行われず、昨年までと様相は異なりますが、令和2年の夏休みは今年だけです。

正しく恐れ、自身を護る感染防止の対策をとりつつ、子どもにとっても保護者の皆様にとっても、充実した夏休みになって欲しいと願っております。

【産休のお知らせ】

個別支援学級の担任 南 智子 教諭が、7月13日より産休に入りました。担任は、竹内 麻衣子 教諭になりました。

【新しく着任された方の紹介】

アシスタント指導員 小川 知穂 先生
職員室業務アシスタント 中野 志津江さん
※小川先生は、3,4年生の算数と4,5組で、TTでご指導いただきます。

